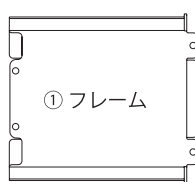
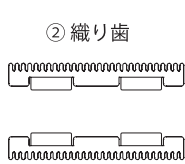


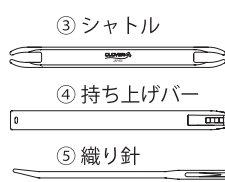
部品説明



① フレーム



② 織り歯



③ シャトル

④ 持ち上げバー

⑤ 織り針

⑥ 織りくし

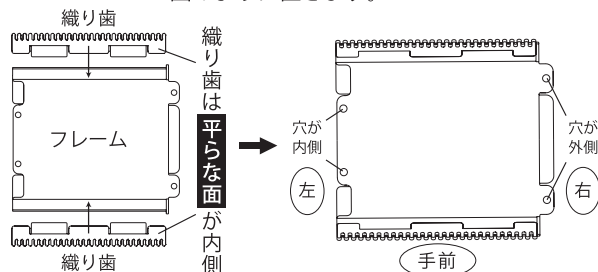


- ① フレーム … 織り歯を上下端に取り付けて織り機として使用します。2台横につなげられる構造になっています。※
- ② 織り歯 … フレーム1台の上下端に各1個取りつけます。たて糸を通す溝が1個に27本ついています。
たて糸密度 = (20羽 : 10cm内に20本のたて糸が入ります)
- ③ シャトル … よこ糸を巻き、織り機のたて糸の間に通して織ります。
- ④ 持ち上げバー … 織り機のたて糸を持ち上げて開口部を作り、シャトルを通します。2個横につなげられる構造になっています。※
- ⑤ 織り針 … シャトルが通らなくなった時によこ糸を通して織ったり、部分織り、糸を通す時、糸始末に使用します。
- ⑥ 織りくし … よこ糸を打ち込む時や整える時にたて糸に沿って使用します。

※ツイン使用時に2台つないだ場合の機能です。

準備

- 1 フレームの上下に織り歯をセットして図のように置きます。



- 4 持ち上げバーを偶数列のたて糸に差し込みます。

持ち上げバーを立ててみて、バーが倒れてしまう場合は張り方がきついで糸端をほどきます。
糸の張り加減を調整した後、糸端を結び直します。



持ち上げバーを差し込む

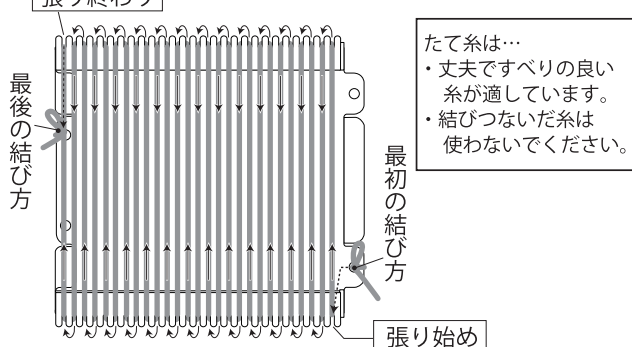


持ち上げバーを立てる

- 2 たて糸を張ります。

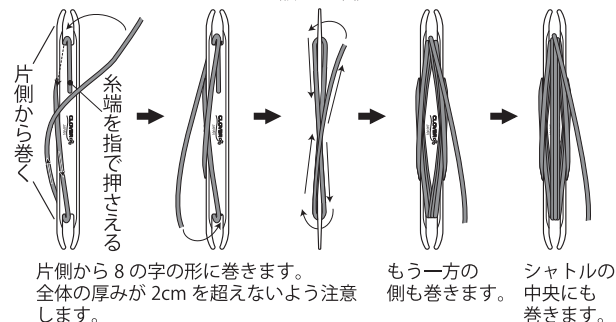
織り機への結び方は裏面の「最初の結び方」「最後の結び方」を参照します。1台で27本のたて糸が張れます。
最後の糸端は調整できるように余分(10cm程度)を取っておきます。
たて糸の張り具合を手で押して、確認して調整します。

張り終わり (図は角型モチーフ 20羽)



- 3 よこ糸をシャトルに巻きます。

〈横からの図〉

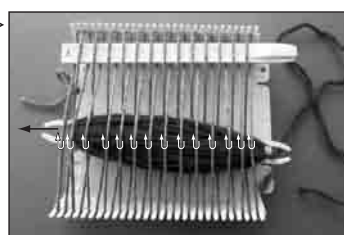


織ります

織り方の説明は「平織」の場合です

- 5 よこ糸は、織る前に「織り機の幅+15cm以上」多めにシャトルから出しておきます。持ち上げバーは倒しておきます。
シャトルの先で右から奇数列のたて糸(持ち上げバーにかかっていない糸)をすくいながら、シャトルを通します。

<1段め>



シャトルの先で奇数列のたて糸をすくって通す

- 6 1段めの糸端は5cm程度残しておきます。
よこ糸を入れたら、山形にゆるみを持たせます。



7 織りくしを入れてみます
☆よこ糸は織りくしに沿って

8 持ち上げた糸

<2段め



持ち上げ

9 持ち上げた糸



織りくし

10 「シャトル」を持ち上げて、途中から始め

11 織り進め、



シャトル

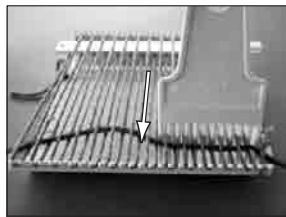
12 織り機を外しよこ糸



上端から

- 7 織りくしの先をたて糸に沿って入れて、よこ糸を手前に打ち込みます。〈1段目が織れました〉

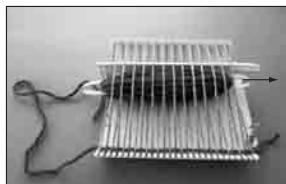
☆よこ糸にモヘアなどを使う場合は織る時に打ち込みすぎないように注意してふんわり織ります。



- 8 持ち上げバーを立てると、偶数列のたて糸が開きます。たて糸の間にシャトルを通します。よこ糸にゆるみを持たせます。

<2段め>

織り始めの糸端を3～4cm たて糸の間にはさみこみ、端を上に出します。

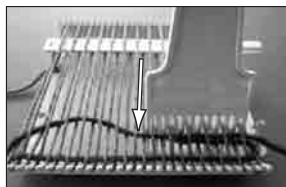


持ち上げバーを立ててシャトルを通す



よこ糸は山形にゆるみを持たせる

- 9 持ち上げバーを倒します。織りくしを使い、よこ糸を手前に打ち込みます。〈2段目が織れました〉



織りくしで、よこ糸を打ち込む



2段目を織ったところ

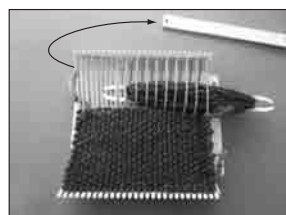
- 10 「シャトルの先で右から左にたて糸を交互にすくって通す」～「持ち上げバーでたて糸を開いてシャトルを左から右に通す」(5～8)を繰り返して織り進みます。

☆途中でよこ糸を替える時は、糸端が新しい糸と3～4cm 重なるようにするか、段の端で糸始末をして次の段から新しい糸で織り始めます。

- 11 織り進んでシャトルが通しにくくなったら、持ち上げバーを取り除き、シャトルでたて糸をすくって織ります。

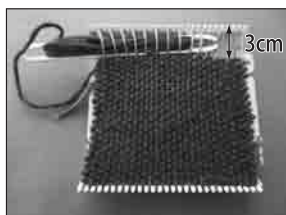


シャトルが通しにくくなったら

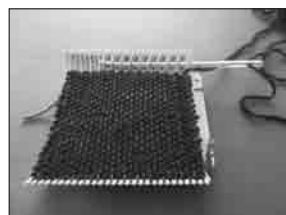


持ち上げバーを取り除く

- 12 織り機の上端まで3cm くらいになったら、シャトルからよこ糸を外して織り針に通し、最後まで織ります。よこ糸の最後の糸端は5cm 程度残してカットします。



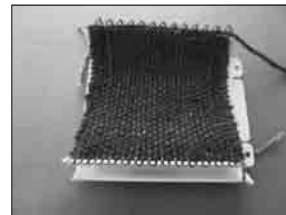
上端から3cm くらいになったら



織り針によこ糸を通して織る

- 13 フレームの左右の穴に結んだたて糸をほどいて織地を織り機から外します。

織り歯と一緒に外すこともできます。



- 14 織りくしをたて糸に沿って織地に入れて均等に整えます。上下のループにもよこ糸が入るように織りくしで整えます。



最終段のよこ糸の始末

- 15 織り針に通し、織地の裏側から前の段のよこ糸に3～5cm 重なるように差し込み、余分な糸をカットします。



※糸が短い場合は、織り針を先に差し込みます。針の頭に糸を通してから、織り針を引き抜きます。

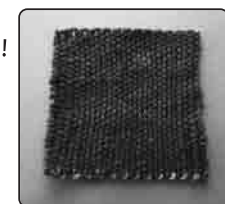
たて糸の始末

- 16 織り針に通し、織地の裏側から隣の列のたて糸に3～5cm 重なるように差し込み、余分な糸をカットします。

※すべりが良い糸を使用して他のモチーフとつなぐ場合は、重なる部分を10cm 程度にします。



できあがり!



クロバーミニ織りはフサの無い角型モチーフ以外に、
織り機の裏にたて糸を回して張ると短いフサ付モチーフが作れます。
また、たて糸の張り方を変えて長いフサ付モチーフもできます。
お好みでアレンジを楽しんでください。

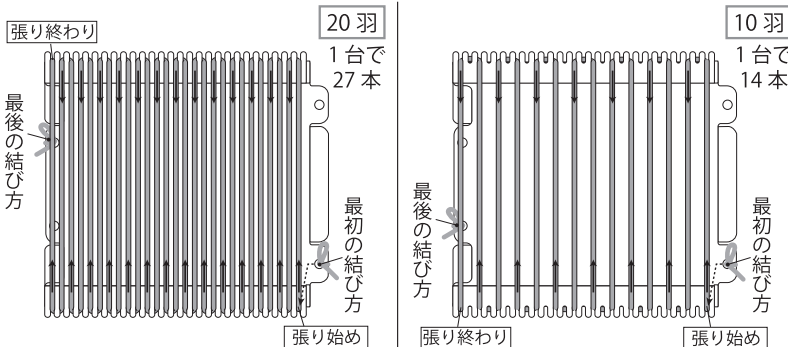
たて糸の長さのめやす…伸縮の少ない糸で計測しています。
(伸縮性のある糸の場合、必要な長さは多少短くなります。)

角型モチーフ

たて糸の長さのめやす

20羽 (27本)	4.2m
10羽 (14本)	2.4m

1枚ならコースターやポケットなどに。角型なのでつなぎあわせるのも簡単
です。※つなぎあわせる場合は、織り上がりのサイズに注意して仕上げます



右サイドの下の方穴に糸を結び、裏側から
下の溝→上の溝→隣の溝→下の溝へ。
最後は裏側に糸を回して左サイドの上の
穴に結びます。

溝をひとつ飛ばしながら、糸をかけると
10羽 (10cm 間にたて糸 10本) の織り機
になります。
極太糸をたて糸にしたい時などに。

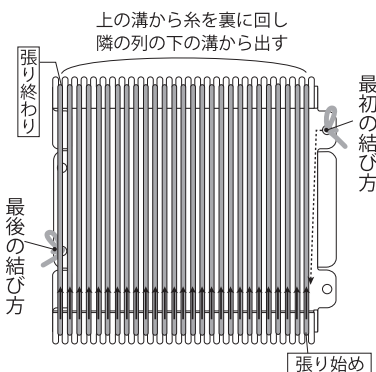
短いフサ付モチーフ

たて糸の長さのめやす

20羽 (27本)	8.2m
-----------	------

コースターにピッタリ。織った後に、織り機の裏に回したたて糸を半分に
カットして短いフサにします。 ※結ぶ前のフサの長さ 約 6.5 ~ 7cm

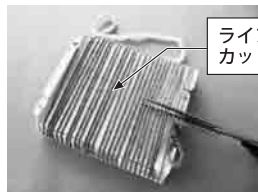
- ① 右サイドの上の方穴に糸を結び、裏側から
下の溝→上の溝に通します。糸を裏側に
回し、隣の下の溝→上の溝と、織り機に
順に糸を巻きつけ、左サイドの下の方穴に
結びます。
巻きつける時に糸を引きすぎると、たて
糸がきつくなるので注意します。



裏に回した糸が
ゆがんでいないか
チェックしまし
ょう

織り機を裏返したところ

- ② 織地を作ります。
- ③ 織りあがったら、織り機から織地を
外さずに裏に向けてます。フレームの
センターラインに沿って糸をカット
し、フサを作ります。



ライン沿いに
カット

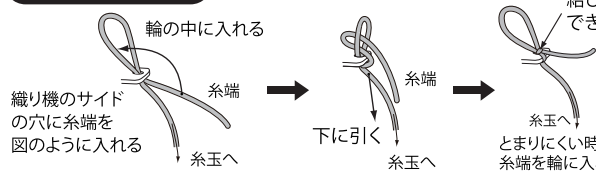
織り機を裏返したところ

- ④ 織地を織り機から外し、フサを結ん
でから糸始末します。
長さを決めてカットすれば、できあ
がりです。



最初の結び方

糸端を引くと簡単にほどける結び方です



長いフサ付モチーフ

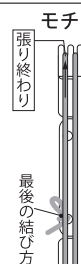
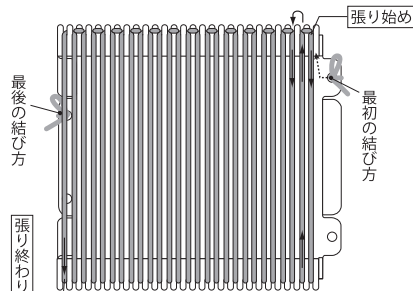
たて糸の長さのめやす

マフラーやタペストリーに。たて糸を裏に回して張り、片
※結ぶ前のフサの長さ 約 13 ~ 16cm (糸の種類や張り)

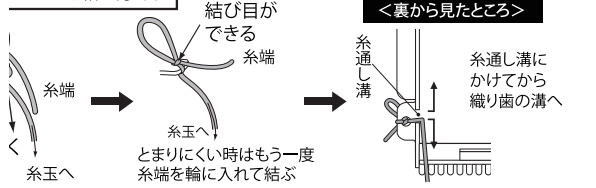
モチーフ下部にフサをつける方法

- ① 右サイド上の
穴に糸を結び、
裏側から右上
の溝→下の溝
にかけた糸を
裏側に回し、
最初に通した
上の溝から出
します。
- ② 糸を上の方織
り機にかけ、隣
の溝から裏側
に回し、その
下の溝から糸
を出します。
- ③ 下の溝→上の溝→隣の溝→
その下の溝の順に糸をかけ
ます。
- ④ 繰り返します。
最後の糸を左下の溝にかけたら、裏側から
左サイド上の方穴に糸を結びます。
織り機の裏に回した糸がフサになります。
織り機の裏側も見えて糸を整えてください。
- ⑤ 織地を作ります。
- ⑥ 織り終わったら②で織り機にかけた糸から外
し、織地を織り機から外します。
- ⑦ フサになる糸は輪になっています。(右画像参照)
整えて輪の部分のカットし、3~4本ずつ揃えて
結びます。長さを揃えてカットします。
スチームをかけると整えやすくなります。
※アイロン熱に弱い素材にはスチームをかけないでください

モチーフ下部にフサをつける場合



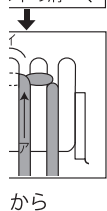
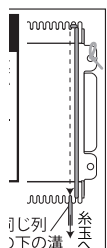
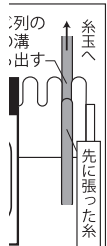
にほどける結び方です



たて糸の長さのめやす 20羽(27本) 8.2m

を裏に回して張り、片側に長いフサを作ります。
icm (糸の種類や張り方で異なります)

方法



から

す。
い。

から外

上画像参照)
つ揃えて
。

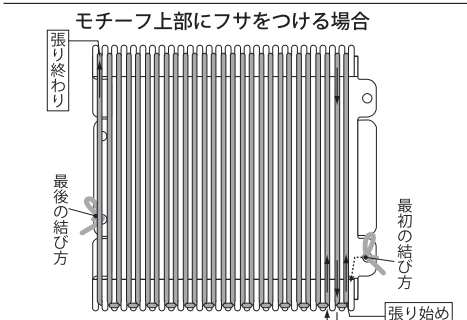
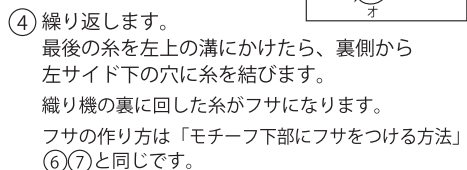
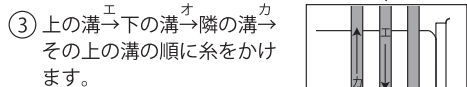
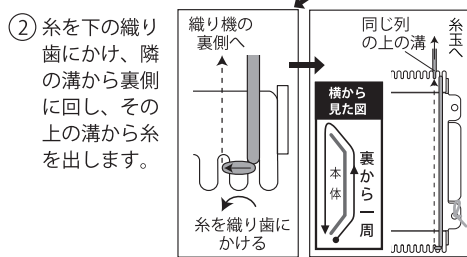
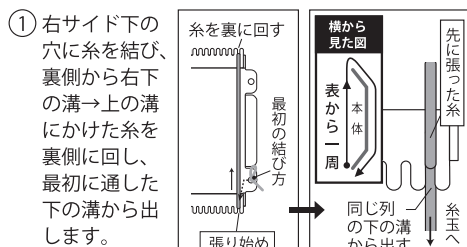
てください

張り始め

最初の結び方

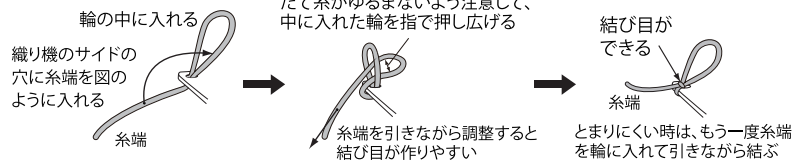


モチーフ上部にフサをつける方法



最後の結び方

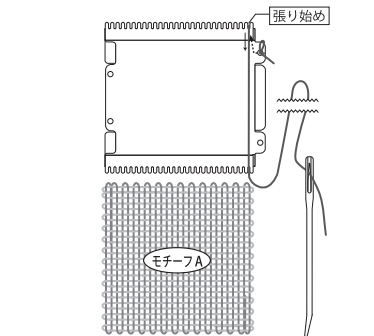
糸端を引くと簡単にほどける結び方です。結び直す時にも便利です。



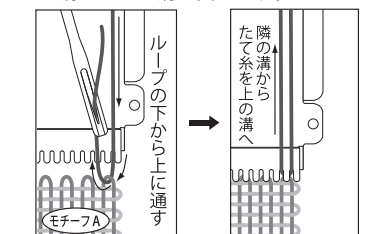
たて糸をつなぎながら織る方法

パッチワーク風の織地ができます。「長いフサ付モチーフ」と組み合わせると
マフラーなどが作れます。モチーフのたて糸の通し方によりつなぎ方が2通
りあります。 ※細かい連続柄はつなぐ時にピッチが合わないのので向きです。

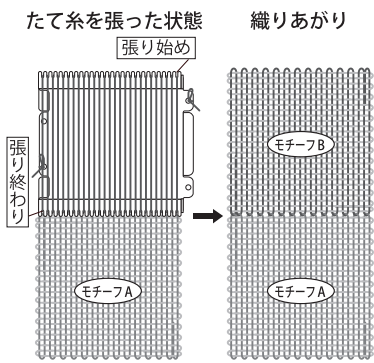
- ① 角型モチーフ A (糸始末済み) を織り機の手前に置きます。たて糸は右サイド上の穴に結び、糸の先端を織り針に通して右上の溝から下の溝に出します。
- ③ ②で織ったモチーフ B (糸始末済み) をつなぐ場合、たて糸は右サイド下の穴に結び、糸の先端を織り針に通して右下の溝から糸を出します。



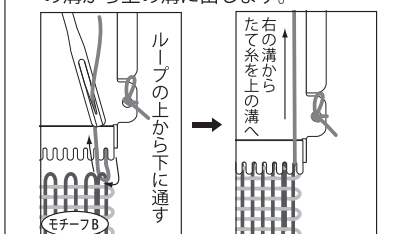
- ② モチーフ A の右上ループの下から上に織り針を通します。通したたて糸は隣の溝から上の溝に出します。



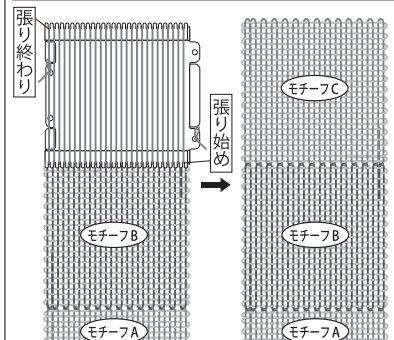
- ③ 上の溝→隣の溝に糸をかけて下の溝に出します。織り機の下溝にたて糸を出す時に ② のようにしてモチーフ A をつなぎます。織り機下部にモチーフ A がつながった状態で織ります。織ったモチーフを B とします。



- ⑤ モチーフ B の右上ループの上から下に織り針を通します。通したたて糸は右の溝から上の溝に出します。



- ⑥ 上の溝→隣の溝に糸をかけて下の溝に出します。織り機の下溝にたて糸を出す時に ⑤ のようにしてモチーフ B をつなぎます。織ったモチーフを C とすると、C は A と同じたて糸の張り方になるので C に続けてモチーフを織る時は ①～③ (A をつなぐ) と同様にします。



クロバー株式会社
〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5
「お客様係」TEL. (06) 6978-2277

⑨ 本製品や使用説明書を無断で複製し配布することを禁じます。

クロバー株式会社

クロバーミニ織り説明書 4/4

※サイズの大きい説明書は2枚にわけています。もう1枚の▲・▼印と合わせてお使い下さい。